

12月の言葉

師走って

十二月の旧暦名が「師走」であることは、皆さんご存じですよ。でも、師が走るって、どういう意味？と知っている人も多いはず。答えられなかったらチコちゃんに叱られそうですね。師とは普通先生のことをいいます。いつもは、「廊下は走っちゃいかん」なんていっている先生が、自ら走ってしまうくらいに忙しい月なんだ。という説が有力とされていますが、じつは、諸説あってなかなか面白いんです。師とは僧のことで、お坊さんが年末参りに忙しいとか、元々、十二月と書いて「しはす」と読んでいたところに、今の漢字を当てただとか。いずれにせよ、なんか気忙しくなるのは間違いない時期ですね。一年を納める月。何かに追われているような感覚に陥りがちですが、今こそ落ち着いて一年を振り返り、一年生ははやくも先輩になる、二年生はとうとう最上級生になる、三年生はいよいよ新しい生活になる、それぞれ準備をしましょう。

「ぼおーっと、生きてるんじゃないわよ！」といわれてしまわないようにね。

戊戌（つちのえいぬ）年師走朔日